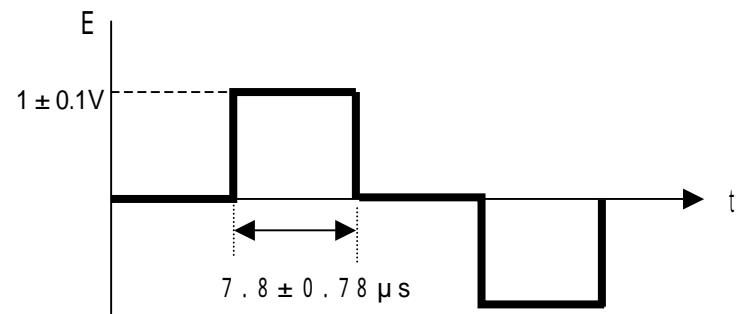


# 網同期クロックの出力信号に関する情報

## 1. 64kクロック分配部、0.4kクロック分配部の出力信号電気特性

【110 純抵抗終端に対して】

- ・振幅 :  $1V_{0-p} \pm 0.1V$  以内
- ・半値幅 :  $7.8 \pm 0.78 \mu s$  以内



64kクロック分配部: 64kHz+8kHzの複合パルス信号を出力  
0.4kクロック分配部: 64kHz+8kHz+0.4kHzの複合パルス信号を出力

## 2. 周波数確度

通常時、マスタクロックに同期している場合、 $1 \times 10^{-11} \sim 10^{-10}$ 程度の周波数のクロックを出力

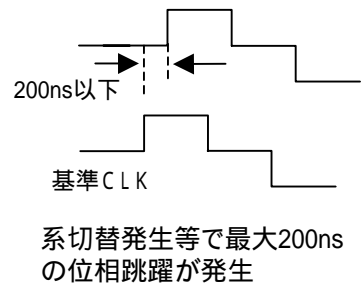
## 3. 位相変動量

マスタクロックに対して、日間変動、季節変動による位相変動量を含め、 $10 \mu s$ 程度以内の位相変動量である

## 4. 位相跳躍特性

クロック系装置の冗長部系切替等により、最大200nsの位相跳躍が発生する  
場合がある

注: 定常時は、入力断やクロック供給装置内の切替は発生しないため、位相跳躍はしません。



## 5. ジッタ特性

現在のところ、64kHz+8kHz+0.4kHzクロックにおいて、0.1Hzから64kHzの周波数における正弦波ジッタに対して、peak-to-peak値で100ns程度以上のジッタ耐力を有する装置では、同期外れ等の不具合は発生していません